

諸家系譜

成吉思汗

庫文官政太		和書門	
三三九	三五四九	架	函
架	函	號	類

庫文內		和書	
五二八	三三四九	架	冊
架	冊	號	類

內閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225(175)
函號	156 23

共二百廿五冊

共八十七



紙

な	係
---	---

久松書

此の係 子と子と 子と子と 子と子と 子と子と 子と子と
---

成務六年

紙

法和源氏 御書

先祖朝臣孫三郎孫光俊後裔某物  
若不知世々甲斐國成修村在任仁  
家名成修之孫也

多布之紋 北内丸字子孫之印

家名之紋 如右

世之紋 辰ノ子也

又成修朝臣孫信仁大示之辰甲斐國成修村  
又久之辰朝臣孫信仁任之平後成修村  
退隱物成修村年月日辰甲斐國成修  
院下藤中在也大教者更注之藤中

信次

通書 永享元年

母 如左

妻

山屋長傳孫 矢野清子門下

天保九年乙酉三月廿五日申時生

家名七年乙酉三月廿五日

名信次孫 山屋長傳孫 矢野清子門下

三子信次人孫清子

天保十八乙酉三月廿五日辰時生

信次

天保十九年乙酉三月廿五日辰時

本不年法成修村在任也

号あり院

女子

母

信好

二九  
井

通  
井

其母

其父

其母

其

万法  
年二月

中

万法  
延  
正  
号

信通

通珍

母

延  
相

室永元中年... 死葬... 同...

号... 信...

信通

通... 和...

一名... 和...

卷... 久...

實父... 信...

實母... 執...

妻... 利...

後妻... 人...

元... 年... 月... 日... 卒...

藏有...

寶... 子... 年... 月... 日... 卒...

體... 年... 月... 日... 卒...

領... 年... 月... 日... 卒...

久... 年... 月... 日... 卒...

寶... 年... 月... 日... 卒...

四... 年... 月... 日... 卒...

什...

正... 年... 月... 日... 卒...

任... 年... 月... 日... 卒...

那... 年... 月... 日... 卒...

有... 年... 月... 日... 卒...

古事類元中子丹の御記土著の坊主  
世に及ぶ所を不慮川町御記の如く  
日七の月ありて又御記の如く  
御記の如く古事類元御記の如く

所記の御記の如く古事類元御記の如く  
御記の如く古事類元御記の如く

所記の御記の如く古事類元御記の如く  
御記の如く古事類元御記の如く

同文の年月を記し傳奏の如く  
古事類元御記の如く古事類元御記の如く  
御記の如く古事類元御記の如く  
御記の如く古事類元御記の如く

同文の年月を記し傳奏の如く  
古事類元御記の如く古事類元御記の如く  
御記の如く古事類元御記の如く  
御記の如く古事類元御記の如く

西行の能く是より其の傳説は抄本に  
聖書地方を記すに門の道に如く其の  
元文二年の月日公記すに在場を以て  
其所碑石の記す所を以て其の碑文并  
其の碑石の傳説を述法書に記す所を以て  
中記すに其の如く其の神庫に  
細研文の彫刻を以て其の建元の  
壬子有朝の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く其の如く

西行の能く是より其の傳説は抄本に  
聖書地方を記すに門の道に如く其の  
元文二年の月日公記すに在場を以て  
其所碑石の記す所を以て其の碑文并  
其の碑石の傳説を述法書に記す所を以て  
中記すに其の如く其の神庫に  
細研文の彫刻を以て其の建元の  
壬子有朝の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く其の如く

先年三月下... 暫時...  
... 令... 延... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

右德... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...  
... 宣... 宣... 宣... 宣...

宣...





元文中月... 志... 和... 文... 中... 月... 志... 王... 而... 所... 賦... 之...  
 以... 石... 龍... 山... 松... 花... 下... 之... 心... 所... 下...  
 後... 人... 之... 志... 一... 具... 物... 以... 只... 是... 腋... 花...  
 中... 之... 志... 衣... 袖... 之... 生... 均... 完... 可... 任... 心... 沙...  
 治... 之... 心... 服... 後... 均... 完... 任... 心... 之... 志... 衣... 袖... 花...  
 一... 近... 之... 乙... 七... 子... 之... 月... 之... 志... 衣... 袖... 花...  
 八... 海... 之... 志... 衣... 袖... 花... 下... 之... 心... 所... 下...  
 輯... 之... 志... 衣... 袖... 花... 下... 之... 心... 所... 下...  
 一... 體... 漸... 之... 志... 衣... 袖... 花... 下... 之... 心... 所... 下...  
 亦... 艾... 若... 梅... 全... 集... 百... 卷... 余... 述... 之...  
 一... 以... 曆... 年... 中... 類... 考... 之...

一 有... 志... 衣... 袖... 花... 下... 之... 心... 所... 下...

和日非

母

書

志... 衣... 袖... 花... 下... 之... 心... 所... 下...

懷... 志... 衣... 袖... 花... 下... 之... 心... 所... 下...

實... 近... 元... 志... 衣... 袖... 花... 下... 之... 心... 所... 下...  
 亦... 艾... 若... 梅... 全... 集... 百... 卷... 余... 述... 之...



東武通中之心乃一年四進之書一市之  
是心以之凡心海以之致令心側  
心側以心次心心系系其後心之  
心東而心海以心之初年心之  
心以心令心其心海以心之  
心海以心之

實政之三年而心乃心海以心海以  
心海以心海以心海以心海以  
心海以心海以心海以心海以  
心海以心海以心海以心海以  
心海以心海以心海以心海以

野 龍 齋 詩 集 題 詞

寶曆七年九月 四日下 山 山 山  
心海以心海以心海以心海以  
心海以心海以心海以心海以  
心海以心海以心海以心海以  
心海以心海以心海以心海以

一 寶曆十三年九月

心海以心海以心海以心海以  
心海以心海以心海以心海以  
心海以心海以心海以心海以  
心海以心海以心海以心海以

年々強壯なる所見は皆出来たり  
一 和久中子 胡婦人 喜能く 氣糧蒙  
し 墨書 和久中子 反 和久中子

一 和久中子 和久中子 依 和久中子  
和久中子 補曆 用 和久中子  
補曆 和久中子 去 和久中子 令 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子

一 和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子

和久中子 和久中子 和久中子

和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子  
和久中子 和久中子 和久中子 和久中子

此修月之辰福至甜香子甲辰每子

善福之教物依

一日六年子○子○子○

種那君能化引ハ心方樂ハ心信卷物群

書父子也之卷アハ心少月甚迷 兼信書

是之

日七事○十二子 在町 証也 教物依

一日子ありハ

活の法極其死許ハ子十月九日ハ心迷令

知子也 心少月 心少月 心少月 心少月

物依且又 心少月中 心少月 心少月

心少月 全少月 物依 依ハ

女

早世

母

細川宗世の事

能ハ心少月 利定也

女

早世

母

福ハ心少月

松平与市郎忠良書

女

母

中人

本城孝仰成思書

女

母

女

母

早世

女子

素

母

母

早世

早世

中山素乃の母

母

早世

寶曆十三年乙酉二月廿一日生

同日辰時生

号外親院法名素子

峰雄

素子

早世

中山素乃の母

依是 字叔亮

實父

實母

實父 實母 昭春院法名 實母 長素子 女

寶曆十三年乙酉二月廿一日生

同日辰時生

号外親院法名素子

曰素子

加地素乃の母

素乃の母

素乃の母

素乃の母

素乃の母

日向... 通...  
中... 稿...  
天... 天...  
法...  
日...  
尚...

一 日去年年方...

種... 紀...  
他... 卷...  
日... 卷...

一 日向...

清... 其...  
金... 下...  
上... 日...  
日... 日...  
日... 日...



老幼皆以之爲別候神子之山秘書  
寫之於石 結物本卷物瓜之布每  
銀幣以

一 寶珠之書子 九月廿七日 山性取  
松平の屋敷

若君採心之系之紀之山月之冊他之是也  
一 寶珠之書子 二月廿七日 山性取  
山性取之山性取之山性取之山性取之  
一 冊此文之書子 二月廿七日 山性取  
山性取之山性取之山性取之山性取之

山性取之山性取之山性取之山性取之  
見之已也 七月廿七日 山性取  
山性取之山性取之山性取之山性取之  
山性取之山性取之山性取之山性取之

女子

山性取之山性取之

女子

山性取之山性取之

女子

司直

山性取之山性取之

山性取之山性取之

書

田舎目人  
下の子の行く様  
女

安んずるに  
實の七折の  
心の中  
移人  
毎に  
行

右の通

子  
四  
三

實政十一

成徳  
八

書

大系  
先達

子の来  
成徳

西

子 夏

蘇東氏  
三為平著〇物

未十元中十元  
10級古多子

西元四十年他何級古多他  
歐潔 海

高宗

成德

二系圖白良元法胤三河國修人（東條）  
成德也其子重信治守其本姓重信

姓并治故者為成德（中家）治也其著

成德者元方之書也

幕之故

此内修藤子

家之故

右内

治之故

二系圖  
此内之書

成德也其子重信以男

重信

幼少也其子重信也其母苗子也其

母

其母志也其母信也

妻

之本

其家之已其年一月其知也列生

寛文七年未年十月十日改男之新親

其母也其書院者也其書也其信也

其母也其信也

其母也其信也

其母也其信也



寛永二十五年十月十日 右殿 貴山内侍  
若之口 公仲下 安殿 貴山内侍  
御殿 御殿

女子

母

長子

殿前 惣八郎 西長 長子

四子

長子 志古 西長 長子

西良

長母

四子

長子 志古 西長 長子

實父

四子

日向 信之 西長 長子

實母

女子

妻

長子

長子 志古 西長 長子

元禄九年 戌辰年 戌辰 生

右西良 長子 志古 西長 長子

男子 志古 西長 長子

元禄十三年 戌辰年 七月 生

女子

同十三年 己未年 三月 生

常憲 公 御 所 見 仁

家永八年 卯年 卯月 卯日 生

修成 卯年 卯月 卯日 生

正徳元年卯年六月廿三日  
正徳元年卯年六月廿三日  
正徳元年卯年六月廿三日  
正徳元年卯年六月廿三日  
正徳元年卯年六月廿三日

寛保三年壬午八月廿三日  
寛保三年壬午八月廿三日  
寛保三年壬午八月廿三日  
寛保三年壬午八月廿三日  
寛保三年壬午八月廿三日

延享元年甲午八月廿三日  
延享元年甲午八月廿三日  
延享元年甲午八月廿三日  
延享元年甲午八月廿三日  
延享元年甲午八月廿三日

天明七年丁未八月廿三日  
天明七年丁未八月廿三日  
天明七年丁未八月廿三日  
天明七年丁未八月廿三日  
天明七年丁未八月廿三日

如子  
早世  
善女  
世  
善女  
善女  
善女  
善女  
善女

實子 半產書 稻葉子後書 但無傳信云云  
吉昌女

母子  
母 子女  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云  
長勝書  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云

西久  
母 實子  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云

延享元年甲子年八月二日 父惠八年  
西長乳 過臨始 以時 實子  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云

有德云 西長乳 實子 稻葉子後書 但無傳信云云  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云  
實子 稻葉子後書 但無傳信云云



上院見お初及お陣瓜竹、同年十月  
六丁羅漢寺、節

所減、去法所供、お初お初、お初  
三、神瓜竹、去法、お初、お初、お初

宝曆元年、去法、お初、お初、お初  
右徳云、去法、お初、お初、お初

入、お初、お初、お初、お初、お初  
お初、お初、お初、お初、お初、お初

お初、お初、お初、お初、お初、お初  
お初、お初、お初、お初、お初、お初

同十、去法、お初、お初、お初、お初  
お初、お初、お初、お初、お初、お初

お初、お初、お初、お初、お初、お初  
お初、お初、お初、お初、お初、お初

お初、お初、お初、お初、お初、お初  
お初、お初、お初、お初、お初、お初

お初、お初、お初、お初、お初、お初  
お初、お初、お初、お初、お初、お初

同十二、去法、お初、お初、お初、お初  
お初、お初、お初、お初、お初、お初

者茶之... 山内丸... 山内性... 山内... 山内...

改... 山内... 山内... 山内...

廿六... 山内... 山内... 山内...

山内... 山内... 山内... 山内...

山内... 山内... 山内... 山内...

改...

寛政... 山内... 山内... 山内...

病... 山内... 山内... 山内...

山内... 山内... 山内... 山内...

女子... 山内... 山内... 山内...

母... 山内... 山内... 山内...

女子

母

西武

母

元文... 山内... 山内... 山内...

市... 山内... 山内... 山内...

女子

母

山内... 山内... 山内... 山内...

歌留仁在什之其立病死行

酉子

物之介

早世

母

善治他少時向其母之死

大為孫其母之志許也

酉次

海之介

早世

母

善治

正辰

母

善治

妻

善治他少時向其母之死

早世

實近四年未年 三月廿二日生

私年三月廿二日生 母之姓也 父名 善治他 母名 正辰

年月日 善治他 母之姓也 父名 善治他 母名 正辰

安永七年 善治他 母之姓也 父名 善治他 母名 正辰

朝之世 善治他 母之姓也 父名 善治他 母名 正辰

善治他 母之姓也 父名 善治他 母名 正辰

善治他 母之姓也 父名 善治他 母名 正辰

中

日八己亥年 善治他 母之姓也 父名 善治他 母名 正辰

上段 善治他

其年二月亥年 善治他 母之姓也 父名 善治他 母名 正辰

四著の旨 於此全四條條々記し 八十年  
中野子記し云

治の云 荒河 山代管身 山代管身  
百連々云

同六十年年 十月十日 於此全四條  
山代管身 於此全四條

同七十一年年 八月 十日 於此全四條  
寛政元年 己酉年 十月十日 於此全四條

同七十一年年 十月十日 於此全四條  
寛政元年 己酉年 十月十日 於此全四條

於此全四條 於此全四條

同八十年年 十月十日 於此全四條  
同八十年年 十月十日 於此全四條

大細五條 山代管身 於此全四條  
山代管身 於此全四條

母 於此全四條 於此全四條  
母 於此全四條 於此全四條

母 於此全四條 於此全四條  
母 於此全四條 於此全四條

同八十年年 十月十日 於此全四條  
同八十年年 十月十日 於此全四條

石河公儀子孫之系  
養子之系  
孫成太郎系  
孫安房系  
孫木助系

女  
早世

母  
早世

女

母  
早世  
日向中系孫女

女  
早世

母  
早世

女  
早世

母  
早世

女

母  
日向中系孫女

母  
日向中系孫女

女  
早世

母  
早世

石河通山系

予の心之新 篇 五所 居 友  
只 寄 仲 丁 寄 友  
寄 上 地 内

寛政元年十二月

成瀬 早九 返

未十二月 晦日

子 蘇 尔 氏  
招 寄 ○ 堀 田 氏 寄

系 譜

十二  
為 寄  
主 目 録  
登 七  
反

成瀬 吉 藏

為示性二條園白大政大臣良基系孫

叔系性

成胤氏

叔之政此月唯醜年

製政

此月一文字

此政此月一文字

幕之政此月唯醜年

二條園白良基云

自京所流居宮在千三河園加茂  
皇御名信上所生公子二人而信良基云

湯原公之子是也其後漸興以故  
為氏依之遂勅在七古故漸修見  
前并書及松井系田修也也其卷之  
借年一家人海是丹波也加茂也  
形以之中切村在位意跡在干今  
所當在之漸漸之遺跡後年  
雖為田老亦乞不熟後孫創建  
一守之也所新山善光寺  
嘉慶二年辰年六月十日刊蘇享字九  
號後善光園院蘇城在明海山會

寺教院境內中院

公道

修名必詳以誠則為氏任誠則後  
福与在任之年村也中漸漸也上  
平村者是也其在位十町察依所  
以今号中漸漸村

桑

初名

中漸漸村任也其後也其後也  
由名中漸漸村任也其後也



原村松仲村松野村松崎村松原村

上達

信長承洋紙成紙多式号下所所殿任

成紙所

成紙所自是物所而川理之明曆

元未年依洪水田園古中依延加山

福定物所今由田之各年

集

又平年 成紙所之各年

成紙所之各年

重負

長親云  
信長云

信長云 上野和仕文十九年 成紙所之各年

成紙所之各年 正三

四次

成紙所之各年 從下所所

成紙所之各年

額田郡海邊名九山郷在城城原

成紙所之各年 及馬場等

成紙所之各年 山崎等

成紙所之各年 山崎等

成紙所之各年 是自此城每朝為湯沐

為備所...

奉化法原君 唐忠君 子為之

勅使著後和之云云...

萬年之皇一曰...

皇清康熙時...

皇清乾隆時...

皇清嘉慶時...

皇清道光時...

皇清咸豐時...

皇清同治時...

給在凡...

治治之年...

皇清今川...

皇清...

皇清...

皇清...

皇清...

皇清...

皇清...

皇清...

永祿二年三月尾尾大之賊入吾糧  
國次奉部上名之廟曾于同也年  
三列中流城之板大君源正所殺伐  
國次先降將有戰功

三列之三信時口申能言之為元健  
三信曰日身在吾同疎濶且  
今回茂外奉命但領地三信謝罪自  
降于三列之流也鄉為 之所領  
公感其回次以信明辨三信之法士  
亦感其罪未之謂也  
永祿二年三月尾尾大之賊入吾糧  
國次奉部上名之廟曾于同也年  
三列中流城之板大君源正所殺伐  
國次先降將有戰功

永祿五年 信房公于藏回信長  
息子結城回次為納采、使而往、  
以年石川信孝、與正及回次、  
是日、信孝、送信房于河野、  
以被馬、信房、與信房、回次、  
惟為之、可、於河野、  
望制之、惟、回次、均、  
云、一、以、威、回次、  
甚、恨、尔、後、  
書、在、後、

天正十二年八月、  
初、信房、  
到、  
出、  
日、  
向、  
云、  
云、  
久、  
日、

使 家原公捷山田京相時極  
國融成得 家原之時有者告  
（名方） 家原之時回次方力  
河内守清長乃使節令使責少京  
家原之時同十九年同家原  
乃陳 家原之時回次方省令  
回次進于京引時有者清一極  
野 家原之時同年三月是村  
建福館 回次之經營  
同二十而在年三月十七日回次所从云

九山京原寺 長德寺 皇道 乃社家  
京原京相時極時又有于今回次  
案地七人乃有之乃九山鄉國鄉也并  
國亦有領也  
文保年中時家原領屋及水次休在  
宮以山京原乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
後乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
於現乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

如子

孫米方此書

之在歷古色字村之  
廣長七年四月  
三月更止  
他  
此

系

黃年系性  
合製  
家

京宗

迎人  
陳

母

孫

書

口

天文十七  
孫君

孫君  
得  
河  
法

子  
久次

重正

母

喜

喜  
宣法御内女

永禄三年辰年八月、宣法御内女生、

申、宣法御内女、幼少、宣法御内女、

宣法御内女、幼少、宣法御内女、  
九月、宣法御内女、幼少、宣法御内女、  
宣法御内女、幼少、宣法御内女、

宣法

宣法御内女

宣法御内女

母

宣法御内女

喜

宣法御内女

宣法御内女、幼少、宣法御内女、

宣法御内女

宣法御内女

宣法御内女、幼少、宣法御内女、  
宣法御内女、幼少、宣法御内女、

子

宣法御内女

宣法

宣法御内女

宣法御内女

宣法御内女

母

喜

母

喜

喜

年長月少之...

大融後様

所代経巻...

作付甚後...

慶安三年...

作付是...

高直後様...

作付...

延宝丁巳年...

作付甚後...

作付是...

自享三年...

作付是...

天保七年...

作付甚後...

重幸

母

喜

母

喜

年長月少...

喜

喜



嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代

元祿四年 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代

日六 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代

作身 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代

作身 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代

嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代

重刻

母

嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代

嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代 嘉有後孫所代

重刻

母

女子

重刻

若母 大坂町守り  
保樂肥前守自給女

実父 成瀬越中守室信

実母 志木忠房右衛門女

年号月日 志木忠房右衛門

年喜

常憲流儀所代室永比下三年中身本方若父流儀  
孫式以り金多右衛門

右任流儀所代正位比四年中身本方若父流儀

年少志美代右衛門 法名国樂院得友

女子 志美代右衛門 長武妻

母 志美代

女子 志美代右衛門 童貫若女

母 志美代右衛門 自給女

治寄

源朝孫少年 志美代 流儀

若母 志美代

実父 志美代右衛門 自給

実母 志美代右衛門 自給女

若母 志美代右衛門 自給若女

後妻 志美代右衛門 自給若女

志美代右衛門 自給若女

元禄三年年日月少知以少知也

有孝侯様所休年号日少知淑淑者八年知也

孝子少知 作印

正徳四年年十月十日孝侯父命之也

御武より少知孝侯様所休年号日少知也

子成

孝侯三年年十月十日孝侯様所休年号日少知也

組少知也 作印物所休年号日少知也

元禄四年年十月十日二九日少知也

同十二年十月十日少知也

少知也 作印物所休年号日少知也  
少知也 作印物所休年号日少知也  
少知也 作印物所休年号日少知也

元禄元年 孝侯様所休年号日少知也  
四十七年 孝侯様所休年号日少知也

女子 淑淑者八年知也

母少知

正徳

母 淑淑者八年知也

書

後書

正徳五年六月廿七日

右徳後様河代寄係二十一兩辰年四月廿二日

御成金に在り申付申上り申上り申上り

御成金申上り申上り申上り申上り

御成金申上り申上り申上り

元文二十二年三月廿九日

御成金申上り申上り申上り

御成金申上り申上り申上り

延享元年九月

右徳後様 御成金に在り申付申上り申上り

御成金に在り申付申上り申上り申上り

御成金申上り申上り申上り申上り

御成金申上り申上り申上り

御成金申上り申上り申上り申上り

御成金申上り申上り申上り申上り

御成金申上り申上り申上り申上り

御成金申上り申上り申上り申上り

御成金申上り申上り申上り申上り

宝曆十三年辰年四月朔

右京御所

所御下り遊

所移延

大河御所

所御下り遊

皇太后御所

大河御所

大河御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

皇太后御所

女子

母

花江 德宗元年八月廿三日生

女子

母

正親 德宗元年八月廿三日生

女子

母

信喜 德宗元年八月廿三日生

正延

德宗元年

去后

母

女子

喜

田原 德宗元年八月廿三日生

後喜

德宗元年八月廿三日生

宝曆七年己未年五月廿三日生

德宗元年八月廿三日生

德宗元年八月廿三日生

德宗元年八月廿三日生

德宗元年八月廿三日生

德宗元年八月廿三日生

德宗元年八月廿三日生

德宗元年八月廿三日生

德宗元年八月廿三日生

德宗元年八月廿三日生

當

濟代寬政三年七月十日 山崎素行

著

作

女子

有田元祇篤之妻

母

西元 古河景隆之利起女

女子

由比之信隆有妻

母

家女

女子

母

田原之助八郎之井之河次女

早世

源氏合次郎

正通

母

田原

源氏合次郎

女子

母

源氏合次郎

母

家女

女子

母

家女

女子

母

源氏合次郎

女子

家女

石通

今午如石  
前向  
新通代  
海山  
永回  
通

寛政十二年

成

未十日  
成

成  
成

系譜

十  
成

成



高氏

高之政

九月懷酸子

成瀬

高之政

九月懷酸子

春分

母喜日記

信房様

信房様 所奉之書

抄取様

於御列山梨子知行二千七百丁物也

駿河田中相列尚系是列小牧之御陣也

春分

母喜日記 延永四年四月

信房守死去後御氣有由由上野女に御

春重

延永九年

母喜日記

延永九年九月、所奉之書、以中上御奉之相取

中上御 神保下老也

延永十二年九月、所奉之書、五十俵、以中上御

其後加奉之御取、大塚村に御

延永九年一甲申年、古死

蘇波子新地、延永九年

延永九年、延永九年

春分

母喜日記

母喜日記

延永二年己未九月、生日記

正保四年十月十日大井の申人絶後追葬物記  
其後婦人松浦の孫也  
延宝三年十月十日在  
元禄二年二月九日死七十二才  
葬向方号法源院宗貞

春近 淑子の事

母喜也  
慶安二年七月十日生  
延宝二年十月十日入太極右系免但  
延宝四年四月十日入太極右系免但  
元禄五年三月十日入太極右系免但  
元禄十一年八月十日加五十二歳引太極右系免但  
正保元年七月十日死五十三  
葬法源院宗貞

光春 中子

母喜也  
元禄九年二月十日生  
正保元年十月十日入太極右系免但  
享保四年八月十日入太極右系免但  
享保十六年三月十日死五十五才  
葬新子寺号中子

春津 九子

母喜也  
享保三年十月十日生  
享保十六年六月十日死五十二才  
葬新子寺号九子



寛政十一年

成徳の事

員

未三有妙  
仙云伊豆の公

系譜

藤原氏  
子孫あり。地田あり

文  
瑞泉の揚子  
子孫あり

小善治  
伊豆の事

成徳の事

高平姓

善信

丸内藤原

成休

善信

丸内藤原

善信

丸内藤原

成休 仙臺系四重二男

善信

成休 仙臺系四重二男

善信

善信

善信

久次

吉平

初代

善信

馬伏塚

忠孝貞女

女 善信 仙臺系四重二男

久次

吉平

善信

善信

仙臺系四重二男

慶長六年三月

元和三年正月

寛永二年

口徳園

口徳園

口徳園

口徳園

口徳園

口徳園

口徳園

口徳園

口徳園

口徳園



寛文十二年二月十九日生  
徳永六年七月廿三日  
徳永九年十二月廿七日  
蘇田与号 瑞雲院 故 氏 度

母 女  
母 女

蘇田与号

母 女

母 女

寛文十二年二月十九日生  
徳永六年七月廿三日  
徳永九年十二月廿七日  
蘇田与号 瑞雲院 故 氏 度

寛文十二年二月十九日生  
徳永六年七月廿三日  
徳永九年十二月廿七日  
蘇田与号 瑞雲院 故 氏 度

蘇田与号

母 女

蘇田与号

寛文十二年二月十九日生  
徳永六年七月廿三日  
徳永九年十二月廿七日  
蘇田与号 瑞雲院 故 氏 度

寛文十二年二月十九日生

徳永六年七月廿三日

徳永九年十二月廿七日

蘇田与号 瑞雲院 故 氏 度

母 女





未三有等  
海口相模守

有尔氏  
子孫之著。堀田豊之守

系譜

子  
秀七  
蘇口

小善清組  
堀田豊之守  
成化八年

藤原姓

成賴

父和、儀者家本、少著法祖  
仙石、法皇御子紀、成賴、采馬也

正法、方、与、書、之、中、也

希之、此之内、破、長、九之内、一、文字

家之、此之内、破、長、九之内、一、文字

智、變、了、成、一、九之内、一、文字

三列、額、向、歌、深、溝、店、地、山、今、在、城  
成、賴、傳、記、三、回、次  
猶、子、成、賴、吉、年、久、次、高、力

重之

辛年

高年

母 遠引馬依城城主 小公孫才女

書

西元、此、内、破、長、九之内、一、文字

成、賴、傳、記、三、回、次

台、德、院、様、所、代、御、書、院、番、也、正、高、後

年、奉、願、大、心、者、也、此、内、破、長、九之内、一、文字

大、藏、院、様、所、代、宣、永、十、五、年、左、列、唐、字

那内三百石知所淨以仁  
万治三年九月三日大宰府  
外紀細之旨病死仕市治長治寺  
葬法名號寶樹院号号然通

女

母

石目人女

花井治所定也喜

深谷信

石目信

鉅室

母

石目人女

孝子

以表門第之儀

栞尔八公治政室也

萬曆院様所代業意三年年一二月三日大宰

氏以有万治三年十月十日又改

三月十日石目信自命子之三年

八月十日大宰府多紀信也信也

而大信也葬也同

法名字安流来也秋本

信也

又信

回信

母

石目人女

石目

石目

石目

回信

母

栞尔八公治政室也

妻

日下勘定宗悛女

嚴有云御代延寶六年三月有女大若山

貞子三宮年三月廿二日海島三宮石

山子也

有章之所代正德七年三月廿七日若山

孫信知女也

正德六年三月廿七日若山

貞子三宮年三月廿二日海島三宮石

貞子三宮年三月廿二日海島三宮石

法名號智念院默然也

政雄 海島三宮年三月廿二日海島三宮石

母 山子也

伊丹有章之妻也

元禄二年三月廿二日海島三宮石

貞子三宮年三月廿二日海島三宮石

忠實

母 山子也

石川有章之妻也

貞子三宮年三月廿二日海島三宮石

政真

母 山子也

山子也 貞子三宮年三月廿二日海島三宮石

此回 辰巳子  
 母 賴母 少事 少事 少事

重東

母 久子

四達

母 久子

四隆

母 久子

喜

早世

有德之所代 喜保七年 喜之 父孫 貳拾五

喜保九年 喜保十年 喜保十一年 喜保十二年

喜保十三年 喜保十四年 喜保十五年 喜保十六年

喜保十七年 喜保十八年 喜保十九年

喜保二十年 喜保二十一年 喜保二十二年

喜保二十三年 喜保二十四年 喜保二十五年

喜保二十六年 喜保二十七年 喜保二十八年

喜保二十九年 喜保三十年 喜保三十一年

喜保三十二年 喜保三十三年 喜保三十四年

喜保三十五年 喜保三十六年 喜保三十七年

喜保三十八年 喜保三十九年 喜保四十年

喜保四十一年 喜保四十二年 喜保四十三年

喜保四十四年 喜保四十五年 喜保四十六年

喜保四十七年 喜保四十八年 喜保四十九年

喜保五十年 喜保五十一年 喜保五十二年

女子

母

長年病中女子

此後能到仕長後能知也

乙卯

回作

母

子女

有徳之所代高孫十七歳年五月日又海武也若  
而孫人少少山並山知小田切也若若  
也也。小孫新孫也也也也  
實人孫也也年二月日也也也也也也

新書の所

延享子元之一年延二十月也初四夜

十次新之也之也初者 所先其後

今向家女子也之也

延享元年十月十日也也也也也也

也京作也也也也也也也也也也

此の今并也也也也也也也也也也

寛政二年四月日也也也也也也也也

い山也也也也也也也也也也也也

十三日也也也也也也也也也也也也

寛政三年四月日也也也也也也也也

山見小重治他前井内新子礼之威  
修之有礼作、永井望内子礼之威  
安永五中年正月廿七日物死葬比高  
法乃疏法令院諱嚴雪德

回子

母

右子

元永五中年正月廿七日

長子

長子

忠義

世

忠義

書

大正十三年三月廿七日

寛文元己年三月廿七日

安永五中年正月廿七日

山見小重治他前井内新子礼之威

安永五中年正月廿七日

山見小重治他前井内新子礼之威

安永五中年正月廿七日

山見小重治他前井内新子礼之威

安永五中年正月廿七日

山見小重治他前井内新子礼之威

元正元年八月五日 巨勢のちのち紀伊  
日八原年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊

元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊

元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊

元正

母

元正

元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊  
元正元年八月五日 倭のちのち紀伊



有子作子記

日中十年七月廿九日

有子作子記

有子作子記

子

母

有子

子

母

有子

有子作子記  
有子作子記

子

母

有子

有子作子記

子

母

有子

有子作子記

子

母

有子

有子作子記

子

母

有子

國清

吉之虫

母

五月

女

母

五月

右之通

之此乃新加坡

在國之

生國之

之乃係

海之船隻之由名之利之

中之乃之乃之乃之乃之

實之乃之乃之乃之乃之

實之乃之乃之乃之乃之

未十乃之乃之乃之乃之

乃之乃之乃之乃之乃之

系信

下  
重久二重家  
癸七

小乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

長宗姓

成宗氏

大藏冠源之法胤成宗氏  
未終

幕一收 八葉角

家一收 九百修磁子

功一收 下為凡

成宗氏... 三平年

母 五元

喜 成宗總長之女

南長七... 三平年

成宗氏所代

元和子... 三平年... 成宗氏... 三平年... 成宗氏...

お節の故  
万治三庚子年十月五日  
市ヶ谷長新寺に葬  
法名家樹院号是也

経重

母

和洋大寺

母

成徳寺の女

母

寛永十二年三月廿一日  
兼徳三甲午年三月廿一日

大書に書入  
万治三庚子年十一月廿五日  
自亥子三為亥年八月十日  
病死日と葬所  
右家の御為に

長傳

又八節

母

成徳寺の女

母

何年何月何日

延享六年壬午年八月、和知山院村年刻、  
新親、石書、  
元禄九年壬午年八月、和知山院村、

山院

同十六年壬午年八月、和知山院、  
和知山院村、  
同十七年壬午年八月、和知山院、  
同十七年壬午年八月、和知山院、

山院

同十八年卯年十一月、和知山院、  
同十九年辰年二月、和知山院、  
同二十年巳年三月、和知山院、

回元

又八

母

家子

喜

年一

年月、  
享保八年卯年十一月、和知山院、

此式以... 小... 他...  
同凡甲辰年十二月...  
著... 根... 他...  
小... 他...

享保二十七年七月十日... 他...

森号... 院... 題...

女子

母

女子

回宅

六三

母

妻

家母

元... 山... 年... 女

享保三十四年十月... 他...

享保二十七年十月... 他...

享保... 他...

享保... 他...

享保... 他...

享保... 他...

享保... 他...

享保... 他...

松平之申次子紀成在江戶時遊江戶  
多紀成四年四月十日在江戶國府  
多紀成  
寬延四年五月十日在江戶  
山崎多紀成  
寶曆乙亥年八月十日在江戶  
多紀成  
明和乙亥年十二月十日在江戶  
多紀成  
同九月在江戶一月十日在江戶

德川家出火之者 湯嶋寺作多紀成  
小善治乙亥年八月十日在江戶  
借地作宅仁多紀成  
燒付  
安永乙亥年八月十日在江戶  
多紀成  
天明乙亥年五月十日在江戶  
多紀成  
同八月甲午年一月十日在江戶  
寬政乙亥年十一月十日在江戶

紀伊守多紀孫殿  
同七乙卯年四月某日御座免多紀孫殿  
曰九丁巳年三月某日御座免多紀孫殿  
多紀孫殿  
同十戌年年十一月某日御座免多紀孫殿  
多紀孫殿

某

法

天保九年

母

嘉永元年

實政二辰戌年十一月十日御座免

病北作 幕府中

法久逸 皇院 皇皇

右 廻 中 心

与 乃 傳 之 孫 也 和 國 三 向 生 回 或 亦

法久逸 皇院 皇皇 檢所 供他 從 定 行

實政 土 乙 未 年 八十二 成 康 亦 乙 卯 年 丑



申言の事

先祖書

子登七友

蘇東氏  
子有孫九弟。物也。是也。

大正四年  
成瀬同暢

為京姓

家改 下家，凡

成儀

曰 破乃西子

曰 籍係 既了家

二家國白良書云

自京作流落白高在干京亦加京野里向之凡  
供與之... 京之而京良書均係京子性之冊  
京成儀以成儀為氏

書久

又京下書也  
京氏京書仁

成也

恭親君信克思奉仁

文之三平身身身晚商人酒儀籍中城小松  
林皇也身計修身切積和集身所之大將軍拜  
身時有身火榮凱歌之身定相系

信克思能出代儀的場案有案整案作乃人為身  
定律儀場用身身身身

信克思身身身身身身身身身身身身身身身身  
身身身身身身身身身身身身身身身身

信克思身身身身身身身身身身身身身身身身  
身身身身身身身身身身身身身身身身

信克思身身身身身身身身身身身身身身身身  
身身身身身身身身身身身身身身身身

信克思身身身身身身身身身身身身身身身身  
身身身身身身身身身身身身身身身身

信克思身身身身身身身身身身身身身身身身  
身身身身身身身身身身身身身身身身

信克思身身身身身身身身身身身身身身身身  
身身身身身身身身身身身身身身身身

信克思身身身身身身身身身身身身身身身身  
身身身身身身身身身身身身身身身身

信克思身身身身身身身身身身身身身身身身  
身身身身身身身身身身身身身身身身

吉原

信光君 親志君 子仁

四年 大原作 此書あり

親志君 長親君 子仁

四年 前の 抄之 嘉永年 抄之 親志君

長親君 親志君 子仁 此の 六名に  
天正の年 親志君 親志君 親志君

長親君

吉原 友方 又 子 友方

長親君 親志君 子仁  
長親君 親志君 子仁

今更に入國 成志君 比類人  
親志君 同地方 抄之 長親君 子仁  
親志君 也 友方 友方 友方 友方  
友方

友方 友方 友方 友方 友方 友方

一回 友方 友方

大原 友方 友方

友方 友方 友方 友方

友方 友方 友方 友方

一回 友方 友方 友方 友方

新田即<sup>保</sup>漢谷丸山に在り

陸奥已<sup>保</sup> 陸奥に在り

非<sup>保</sup> 陸奥に在り

陸奥に在り 陸奥に在り 陸奥に在り

陸奥に在り 陸奥に在り

陸奥に在り 陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

陸奥に在り

廿四日金龜橋久事

廿五日村下多事

廿一日 廿二日 廿三日

天文七年生上別古名  
承祿三年有故甲別任之、此後南豐藩  
屬跡下物十母死

神皇正統

天守中少事、以不甲別任者例、左又別録、誠  
以新州土、<sup>根</sup>根元属之、<sup>定</sup>定十部、新制、法且也、<sup>心</sup>心  
所、仲及、即、系、地、二、三、云  
廣長五年、仲久、誠、力、而、在、属、根、系、乃、心

以別後并即古名之代名

天和六年六月十日死、<sup>心</sup>心

書、然、以、是、格、守、味、云、云、十、中、年、且、有、心

西書、山、上、法、師、守、女、廣、長、五、年、十、日、死

西書、在、堂、野、基、乃、之、境、宣、永、三、年、十、日、死

正威 集之子 始小名尾列光 當時身入正祖

別名

神皇正統

書正 四部師

當時加名、<sup>心</sup>心

神皇正統

天守中少事、始、元、親、年、其、人、奔、紀、別

金吾子細之仁 又加其子細之仁

正和 豐後守 如法者

母山之氏女

正和十三年生甲州

公任之山内性助少子之恩地

正和十三年生

廣長十年四月十一日將軍宣下北方以拜領其山系

山内氏通子

天和二年十月十日行初和恩与 正和氏者祥与

切後之山内氏

生喜 山内氏守弘隆女 廣長八年十月十日

出孫山内氏守弘隆女 廣長八年十月十日

母山内氏守弘隆女 廣長八年十月十日

正和 吉乃 吉乃 如法者

母山内氏守弘隆女

廣長十二年生依兒

廣長十八年十月十日

神皇正統記卷之四十四 自高皇產靈天皇下代

正和 吉乃

正和 吉乃

一 正和 吉乃

正和 吉乃

一 正和 吉乃

正和 吉乃

一 正和 吉乃

正和 吉乃

一、部名控名及年中并了番村

於今御中心

古家切記令可行動也何如

慶長十三年八月廿五日

成瀬右衛門

元和六年八月廿五日

宣永二年十月十日

御新田橋以即

北平斗奈留家即秋山村

中河之内斗西力村

近江小坂向即

余平、田村

高場村

教合部

分了

宣永二

二月廿一日

成瀬右衛門

宣永三年八月廿五日

宣永十三年

宣永二年十月十日

宣永三年八月廿五日

宣永四年八月廿五日

宣永五年八月廿五日

宣永六年八月廿五日

正別 古く

母上白

慶長十八年八月廿八日所見

女 幼少美為事

母上白

女 金丸治給為事

正年 如所下 古く

實 尾羽治成所古く正別二書

明二申年十月朔 瑞為事

四年四月廿四日見

元文三年 自給治給入 瑞為事

延宝二年 十月廿九日 瑞為事

自給二日 瑞為事

元禄四年 十月廿八日 瑞為事

元禄九年 瑞為事

同年十月廿九日 瑞為事

瑞為事 瑞為事 瑞為事

事 又 瑞為事 瑞為事

女 瑞為事 瑞為事

正別 古く

實 尾羽治成所古く正別二書

明二申年十月朔 瑞為事

四年四月廿四日見

元文三年 自給治給入 瑞為事

延宝二年 十月廿九日 瑞為事

自給二日 瑞為事



宝永二年甲子八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永五年乙卯八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永七年丁巳八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永九年己未八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永十一年辛酉八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永十三年癸亥八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永十五年乙丑八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永十七年丁卯八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永十九年己巳八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永二十一年辛未八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永二十三年癸酉八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永二十五年乙亥八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永二十七年丁丑八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永二十九年己卯八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永三年甲子八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永五年乙卯八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永七年丁巳八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永九年己未八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永十一年辛酉八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永十三年癸亥八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永十五年乙丑八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永十七年丁卯八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永十九年己巳八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永二十一年辛未八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永二十三年癸酉八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永二十五年乙亥八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永二十七年丁丑八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永二十九年己卯八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

宝永三年甲子八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永五年乙卯八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永七年丁巳八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永九年己未八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永十一年辛酉八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永十三年癸亥八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永十五年乙丑八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永十七年丁卯八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永十九年己巳八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永二十一年辛未八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永二十三年癸酉八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永二十五年乙亥八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永二十七年丁丑八月十日 山崎重隆 子 大之助 女  
宝永二十九年己卯八月十日 山崎重隆 子 大之助 女

喜井之助中守正晴養女

女 大島氏名卜丸陣妻

女 安藤氏名卜丸陣妻

正方 喜井

母井之氏女

喜井氏名卜丸陣妻

寛保十二年申月廿七日卯入道公氏名正元養女

寛保十二年申月廿七日卯入道公氏名正元養女

正常

喜井氏名卜丸陣妻

喜井氏名卜丸陣妻

寛保十二年申月廿七日卯入道公氏名正元養女

寛保十二年申月廿七日卯入道公氏名正元養女

寛保十二年申月廿七日卯入道公氏名正元養女

寛保十二年申月廿七日卯入道公氏名正元養女

寛保十二年申月廿七日卯入道公氏名正元養女

寛保十二年申月廿七日卯入道公氏名正元養女

寛保十二年申月廿七日卯入道公氏名正元養女

正定

喜井氏名卜丸陣妻

喜井氏名卜丸陣妻

喜井氏名卜丸陣妻

其の四十年 三月五日 入永井堅如之宛  
 方角之宛  
 四年三月五日 中山内寄  
 乙卯七月五日 寄中 西九月十日 寄衣  
 寛政七年三月十日 寄衣  
 四年四月五日 藝術 慶御内寄  
 寛政八年四月十日 寄衣  
 寛政九年三月十日 寄衣  
 山崎守定之宛

廿 林田守下 百部書  
 廿 正音 小下

廿 七通 小下

寛政十年三月十日

大徳寺  
 成瀬同博守

五

青海  
海邊平川 白

系譜

高島氏  
子持守 〇 堀田豊前守

有美作守  
平高細井 系譜

中津川  
海邊平川  
成瀬守

高子氏

藤之氏

北内藤氏

秋瀬

藤之氏

藤原

高之氏

藤原

藤原

藤原氏 北内藤氏

細井之方乃 藤原氏代孫細井金三郎 伯父男  
細井金三郎 伯父男

正朝

子之文 藤原氏代孫 藤原氏

細井之方乃 藤原氏代孫 藤原氏

相沙

母山藤原氏 加藤實法氏 宣德女

書女

寛永四年 壬午 壬午 初月 見

四年 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午

其後 長治 長治 長治 長治 長治 長治 長治 長治 長治 長治

初月 見 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午

寛永十年 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午 壬午

即 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

庚子 庚子

丙辰 丙辰

壬午 壬午

庚子 庚子

丙辰 丙辰

壬午 壬午

庚子 庚子

丙辰 丙辰

壬午 壬午

庚子 庚子

丙辰 丙辰

壬午 壬午

庚子 庚子

丙辰 丙辰

正廣 高直

母高直 正喜

寛文三年年十月十日 自京都所産高直也

寛文十三年年七月十日

寛文十三年年九月十日

華岡 高直達院新性

正次 高直 見正廣高直子

正住 高直 見正次高直子

女 高直殿高直高直高直

正次 高直

高直高直  
高直高直

正喜 高直高直高直

寛文十三年年十月十日 高直高直高直高直

延和二年年十月十日 高直高直高直高直

天和二年年十月十日 高直高直高直高直

享保十三年年十月十日 高直高直高直高直

享保十四年年十月十日 高直高直高直高直

高直高直 高直高直高直高直

女 高直高直 高直高直高直高直

正住 高直

高直高直高直高直  
高直高直

妻 細井 為子 孫正女

元禄十一年七月七日卒

同日卒

家承六月廿四日卒 入所 在 此 地 回 限 的 等 也

同日卒 大正 大的 上 修 入 十 二 御 金 三 石

寛保十四年 卒 白 云 江 月

同日卒 八 日 卒 云 云

葬 白 云 号 心 院 院 殿 御 室

正外 兄正位 為子

正外 為子 小 女 子

妻 母 細井氏 女

實男

妻 為子 三 女 子 女

後妻

柳 一柳 為子 柳 柳 女

寛保十四年 卒 白 云 江 月 大 正 御 金 三 石

寛保十九年 卒 白 云 江 月 大 正 御 金 三 石

寛保二十一年 十月 卒

葬 白 云 号 心 院 院 殿 御 室

正外 為子

母 一柳氏 女

正妻

寛保二十一年 卒 白 云 江 月 大 正 御 金 三 石

寛保二十一年 卒 白 云 江 月 大 正 御 金 三 石

寛保二十一年 卒 白 云 江 月 大 正 御 金 三 石

正外 兄正位 為子





高直之 在回三

三の長老

寛文十一年

成休 彦

未

五

申之 心 申  
心 申之 心 申

系 譜

高直之  
の 七 九 年 〇 増 田 氏 系 譜

高直之

高直之



元禄七年七月廿一日  
家永  
享保八年  
享保九年  
享保十年  
享保十一年  
享保十二年  
享保十三年  
享保十四年  
享保十五年  
享保十六年  
享保十七年  
享保十八年  
享保十九年  
享保二十年

正興

母新女

享保七年七月廿一日  
享保八年  
享保九年  
享保十年  
享保十一年  
享保十二年  
享保十三年  
享保十四年  
享保十五年  
享保十六年  
享保十七年  
享保十八年  
享保十九年  
享保二十年

天明元年二月廿一日  
享保二十年

澄

母新女

享保七年七月廿一日  
享保八年  
享保九年  
享保十年  
享保十一年  
享保十二年  
享保十三年  
享保十四年  
享保十五年  
享保十六年  
享保十七年  
享保十八年  
享保十九年  
享保二十年

女 氏名を遺す名は史良恭喜

女 氏名を遺す名は田之助喜

和向之親喜

女 氏名を遺す名は久吉

母を遺す名は女

喜之佐徳氏大次郎の御孫女

昭和二年十月一日の生誕

天和四年十月十日の生誕

天明七年十月十日の生誕

天保七年十月十日の生誕

天保七年十月十日の生誕

母方

女 氏名を遺す名は

女 氏名を遺す名は市川氏御孫女

女 氏名を遺す名は色元喜

女 氏名を遺す名は

女 氏名を遺す名は

女 氏名を遺す名は

女 氏名を遺す名は牛込山女

女 氏名を遺す名は

寛政十一年

御印  
成永  
申  
正

未  
松平

先祖書

藤原氏  
子孫

好  
元禄  
半  
夏

甲  
松平  
成永

高木姓 丸ノ口横ニツリ  
成田 豊後 豊後 丸ノ口横ニツリ  
幕後 丸ノ口横ニツリ

高木姓 丸ノ口横ニツリ  
成田 豊後 豊後 丸ノ口横ニツリ  
幕後 丸ノ口横ニツリ

母柏谷氏女  
妻 小原氏長 布川高久女  
天保八年 小原家 高久相列 立迎  
川谷  
寛永八年 年 月 日 立迎  
妻相列 小原村 高久 号 昌山 永久  
高木 丸ノ口横ニツリ  
成田 丸ノ口横ニツリ

喜 婚 新 子  
神 忌 日 月 日 立迎  
去 後 丸ノ口横ニツリ  
母 布川氏女 妻 大多利長久女  
寛永二年 年 月 日 立迎

天和元年 先 入 松浦 四郎 立迎  
貞享二年 年 月 日 立迎  
妻 相列 小原村 高久 号 昌山 永久  
号 昌山 永久

高木 丸ノ口横ニツリ



御覽 御覽 御覽

母方

喜六郎 松本村 正徳廿

正徳廿五年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

利治 松本村

享保十三年十月 松本村 正徳

四和 松本村 正徳

氏 松本村 正徳

享保十二年十月 松本村 正徳

安永七年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

母方 松本村 正徳

母方

御覽 御覽 御覽

母方 松本村 正徳

喜六郎 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳

享保十三年十月 松本村 正徳



四年のり大分縣村と覺中、甲子海王皇孫  
三子御

明和四年三月九日

山形縣山邊史之相御

同年四月廿日、新皇孫皇孫上覺中御海王皇孫

明和五年三月廿日、上覺中御海王皇孫

御多御

明和七年十月朔、新皇孫皇孫上覺中御海王皇孫

明和九年三月廿日、上覺中御海王皇孫

新皇孫皇孫上覺中御海王皇孫

御多御

母

嘉慶四年三月廿日、上覺中御海王皇孫

刑部左大臣、上覺中御海王皇孫

嘉慶

利親、上覺中御海王皇孫

三年、上覺中御海王皇孫

長純、上覺中御海王皇孫

母

明和七年三月廿日、上覺中御海王皇孫

本

刑部左大臣、上覺中御海王皇孫

明和七年三月廿日、上覺中御海王皇孫

母

母

母

真合院方相初  
三州人其年一十有九乃死二千五

婦之 前以下天

母之 前以下天

母上曰

安永三年三月十日... 御有 十一

母上曰

書 神多... 世

明和九年... 吉嘉他

安永七年... 昔... 天... 宣... 享... 宣... 下... 吉... 御有

母上曰

真合院方相初

宣和十二年... 死二千八

母上曰

母上曰

母上曰

「結音」

世音

右通心

高百信十人

文化元年七月

成田

ね

未子二月十日  
山口郡

先祖書

あふ氏  
あふ氏

子  
あふ氏

山口郡

成田

高木姓

一徳之改

北内橋二川

成田

常之改

三ッ巴

力之改

五三相 北内橋二川

珍之改

五三相

成田屋子 伊藤子

伊藤子

母 高木新屋子七郎女

妻 高木重 高木新屋子七郎女

相列 高木新屋子七郎女

元正十八年 伊藤子

寛永二年 伊藤子 日産 伊藤子

伊藤子

伊藤子

母 高木新屋子七郎女

妻 高木重 高木新屋子七郎女

之孫 高木重 高木新屋子七郎女

慶長年中 伊藤子

寛永二年 伊藤子

高木新屋子 高木新屋子七郎女

高木新屋子 高木新屋子七郎女

高木新屋子 高木新屋子七郎女

高木新屋子 高木新屋子七郎女

其書向子 号 元信

結宣 長子

世系地氏女

妻 安部井 氏乃女

寛永十三年生

寛文三年十月表出

元禄元年六月廿九日死

葬日向 号 野田 氏

結信 長子

世系地氏女

妻 安部井 氏乃女

寛文八年生

元禄元年七月廿九日

元禄五年甲午十月廿九日

元禄十一年十一月十日

元禄十五年四月廿九日

元禄二十年七月廿九日

元禄二十五年十月廿九日

元禄三十年二月廿九日

元禄三十五年五月廿九日

元禄四十年八月廿九日

元禄四十五年十一月廿九日

元禄五十年三月廿九日

元禄五十五年六月廿九日

元外 長子

世系地氏女

妻 安部井 氏乃女



寛政十二年八月廿四日

母 氏

母 氏

明和五年二月二十三日

文政七年十一月廿九日

母 氏

寛政八年十一月廿九日

田中十右衛門

母 氏

母 氏

母 氏

母 氏

母 氏

高下儀 氏

高下儀 氏

高下儀 氏

寛政十二年八月

高下儀 氏

高下儀 氏

高下儀 氏

な  
立派十九  
字  
長

系譜

未  
字

若  
字

小  
成  
印



前示 誠白

姓代由申候

元禄年中誠白前候門當者、所申  
江島史之系、忠告傳未燒矣、候下  
可也

權限候之紀、誠白上候、以長、若下、至

向書、今以傳、事、候、長、若、若、日、之、  
所、故、附、風、等、也

得、春、渡、候、不、誠、白、前、候、門、當、者、候、下、所、書

以、文、向、方、下、通

德、弱、所、申、候

候、下、之、門、當、者

候、下、之、門、當、者

候、下、之、門、當、者

候、下、之、門、當、者

候、下、之、門、當、者

以、門、當、者、家、康、所、列

候、下、之、門、當、者

候、下、之、門、當、者

候、下、之、門、當、者

武烈忠誠

武烈忠誠

武烈忠誠

正安

母忠 喜

年日忠 下野 忠

元祿四年十二月

常憲院

元祿四年三月

元祿四年三月

元祿四年

元祿四年三月

正東

母忠

喜

年日忠

元祿四年三月

元祿四年

元祿四年三月



子喜

陽春佳候の目達

成田がけの正業也

成田がけの正業也

延享二年十月十日

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

成田がけの正業也

高田のりき  
号 骨之字 法如 郷言

正業

母 三増 孝 茂 後 守 道  
母 田 原 氏 子 正 業 女

喜 年 少 子

籍 唐 王 全 万 年 正 月 終 以 内 生  
安 永 元 年 乙 丑 月 有 方 又 母 田 原 氏 子  
正 業 終 年 踰 百 有 餘 矣 及 其 終  
少 事 終 但 好 禮 終 竟 亦 死 之 也 成

安 永 元 年 乙 丑 月 中 日 卒 出 葬 墓 所 未 詳 矣  
年 終 成

同 元 永 元 年 乙 丑 月 中 日 卒 出 葬 墓 所 未 詳 矣  
年 終 成

天 保 元 年 乙 丑 月 中 日 卒 出 葬 墓 所 未 詳 矣  
年 終 成

同 天 保 元 年 乙 丑 月 中 日 卒 出 葬 墓 所 未 詳 矣  
年 終 成

安 永 元 年 乙 丑 月 中 日 卒 出 葬 墓 所 未 詳 矣  
年 終 成

日九丁巳子方有言 御覧を以て記す

政由 権勝の心所

母 〇〇〇

天の命 〇〇〇十二月十日 小室の御

永井の御 〇〇〇権勝の御 〇〇〇

〇〇〇

日二在 〇〇〇年 〇〇〇日 〇〇〇

〇〇〇の御 〇〇〇御 〇〇〇

正則 〇〇〇

母 〇〇〇

兄御の御 〇〇〇

正康 〇〇〇

母子

右通の御 〇〇〇

〇〇〇の御 〇〇〇御 〇〇〇

〇〇〇の御 〇〇〇

〇〇〇の御 〇〇〇

な  
医所  
外

之相書

末十有九日  
日

信  
方  
○  
○

河津  
氏

*[Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side]*

芝細書

法利源氏

成田

平田改

三折妻

野改

乃三相

幕改

三折妻

新田大炊助の御堂公御堂見御堂守  
義弘一後胤守層回修人里見五折乃乃  
其系可也

成田通因 名無知

成田通因の故、苗改小可也里見、

成田の相方系也一生傳人、名死の事也

後系相方系也、其系、

号法性院、其系也

印作

成田通因の故

一元祖

成田宗基、法眼直高

母

井上勘久、其系也也此

成田宗基、其系也也此

成田宗基、其系也也此

成田宗基、其系也也此

成田宗基、其系也也此



法眼を以てして後世に傳へしは  
實に天に比ぶべき事なり  
心掛りて以て之を以てす

市憲後孫所他界法眼合の行日

高の孫元而申子十一日ありて  
此の如し

己巳年二月廿九日死に  
其の如し

喜  
長長の如し

喜  
長長の如し

吉田初菴法眼の如し  
其の如し

一二行目  
母  
其の如し

市憲後孫の如し  
其の如し

高の孫元而申子十一日ありて  
其の如し

りひひ

寛保十二年申子三月二十日所相神心  
后家月日〇十二日九日所相神心

以見寄合ひひ

寛保十二年三月二十日所相神心

前日所相神心

号也性院神心

書 家女

也 信末

也 弟三所 山向長敬之書

一三代目 成向宗平直之

母 家女

寛保二年三月二十日所相神心

右徳院神心 神心所相神心

日三念念子三月二十日所相神心

三月二十日所相神心

竹中園神心 神心所相神心

也 信末

号也性院神心

也 信末

皇太后御前

号至道院藏

書

山内之長法服元吉

皇太后御前

女子

山内宗胤元吉

一  
山内宗胤

養母

實母

法明源流山内宗胤元吉

書本平家宗胤元吉  
續皇太后御前  
山内宗胤元吉

山内宗胤元吉  
山内宗胤元吉  
山内宗胤元吉  
山内宗胤元吉  
山内宗胤元吉  
山内宗胤元吉  
山内宗胤元吉  
山内宗胤元吉  
山内宗胤元吉  
山内宗胤元吉

家督宗胤公孫 於多日諸君皆於終  
中宗宗夫之文 亦於此後不河其物也  
有終一也

實之政可也子年乃自午之 以嘉運所  
以山行多於 山行多於 山行多於  
山行多於 山行多於 山行多於

日七之升子行乃公北子乃乃乃  
弟乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

喜

成田宗平直之也

早世

知方終終

右終終

安中世乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

成田宗平直之也

母

成田宗平直之也

私愛又宗胤所當運所相和乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

夕日東也... 昭子...

日十一年... 於...

喜

梶久...

如子

如子...

右通...

...

寛政土... 成田宗...

